

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 7. 22

下水道機構の『新技術情報』 第389号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

今週の水曜日は新技術研究発表会【大阪会場】が開催されます。
下水道機構の各研究部の発表に加え、東京都市大学の長岡教授、国土交通省水管理・国土
保全局下水道部下水道事業課事業マネジメント推進室吉澤室長をお招きして、ご講演いた
だきます。

今回の大阪会場は従来通り、大阪科学技術センター401 会議室で開催します。

13時10分から開会になりますので、お早めに来られる方はご注意ください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第389号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第70回 新技術セミナーを【東京会場】8月23日(金)、【大阪会場】8月30日(金)に開催します！

■機構の動き

- ・第25回 下水道新技術研究発表会【大阪会場】を開催します！

■Tea Break

- ・技術の進歩(企画部 なすびさんからの投稿です)

■研究成果のおさらい

- ・2018年度年報【要約版】発刊までお休みします。

■ピックアップ！機構情報

- ・ユーザーレポート
(省エネ・創エネ・運転管理でコストを縮減 ユーザーレポート
～エネルギー自立化への取り組み・岩手県下水道公社～)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・7/19付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話です)

●第70回 新技術セミナーを「ICT/IoTを活用した効率的な浸水対策について」をテーマに開催します！

【東京会場】

日時：令和元年8月23日（金） 13：00～16：45
場所：千代田区立日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール
（東京都千代田区日比谷公園1-4）

【大阪会場】

日時：令和元年8月30日（金） 13：00～16：45
場所：大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4）

※両会場ともに詳細及び参加申し込みはこちら
<https://www.jiwet.or.jp/new-tech-seminar70>

○下水道展'19 横浜の併催企画として

「[技術セミナー]「下水道における微量物質等への取り組み」～マイクロプラスチック問題を考える～」

を8月7日（水）に主催します！

日 時：令和元年8月7日（水） 10:00～12:00
場 所：パシフィコ横浜 会議センター511、512 ルーム

※詳細・お申込みはこちら
<https://www.jiwet.or.jp/sewage-works-exhibitions2019-eventm>

●2018年3月発刊の6テーマの技術マニュアル・技術資料を会員専用サイト（図書検索）に追加しました。

今回掲載された6テーマは以下の通りです。

- 下水道管路管理の包括的民間委託推進マニュアル（案）
- 下水道管きょ内の水位予測機能を備えた管きょ内水位把握システムに関する技術資料
- 効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲート設備に関する技術マニュアル
- 低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル
- 下水道由来肥料の利活用マニュアル～施用量をどのように決めるか～
- 下水処理場におけるエネルギー自立の可能性調査研究技術資料～ゼロ・エミッションを目指して～

※会員専用サイトはコチラ
<https://www.jiwet.or.jp/member-login-m>

機構の行事予定

。 。 ○。

○「第25回 下水道新技術研究発表会」を7/24（水）大阪で開催します。

地方公共団体および民間企業と共同研究した成果等の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。

【大阪会場】令和元年7月24日（水）13:10～16:55
（会場）大阪市西区 大阪科学技術センター
（定員）120名

※プログラム、お申込みはこちら

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●技術の進歩(企画部 なすびさんからの投稿です)

本日は、テニスに関する技術の進歩について書きたいと思います。私が軟式でテニスを始めた30年ほど前、初めて使ったラケットは先輩のお下がりで材質はウッドでした。

高校生になり硬式テニスに転向した時には、カーボンやグラファイト素材のラケットが主流でしたが、重量は今と比べて重く反発も少なかったために、材質を厚くしたいいわゆる「厚ラケ」や長さを長くした「長ラケ」などが多くありました。また、重量が重かったためラケットをコンパクトに引いて後ろから前に体重をかけるような打ち方が主流で、ボールの軌道も直線的でした。

現代はというと、樹脂などの様々な素材を複合して作られているようでして、「厚ラケ」や「長ラケ」はなくなりました。重量も軽くなり、ラケットを大きく引いて、腰の回転で打つ打ち方が主流になり、ボールの回転量がもの凄く増え、スピードも速くなりました。私が通うテニススクールのコーチの皆さんが打つショットも、昔の感覚だとコートには入らないような高さで飛んできて回転量が凄いのので急激に落ちてコートに入り、バウンドしてからグッと伸びます。世界のトップで戦う錦織選手や大坂選手のショットはさらに上を行くものでしょうから想像すらできないですね。

私たちが直面する様々な課題も、技術の進歩により解決できるよう日々の業務に取り組みたいと思います。

。○○。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します)

。○○。

今回は、2018年度の年報【要約版】の発刊後、掲載します。(令和元年8月頃)

。○○。

ピックアップ! 機構情報

(下水道機構情報Plus+ 16号の中から記事をご紹介します)

。○○。

・ユーザーレポート

(省エネ・創エネ・運転管理でコストを縮減 ユーザーレポート

～エネルギー自立化への取り組み・岩手県下水道公社～)

昭和55年4月に供用が開始された岩手県・都南浄化センターは、盛岡市や滝沢市など二市二町を対象とする分流式(盛岡市一部合流式)の処理場です。現有施設能力は19万5600m³/日最大、日平均流入量は13万7673m³(平成29年度実績)。水処理方式は標準活性汚泥法を採用、汚泥処理方式は濃縮・消化・脱水・焼却で、発生した消化ガスは消化ガス発電および汚泥焼却炉の補助燃料に使用しています。

同センターは消化ガス発電した電気を自家消費しており、処理場の消費エネルギーが比較的少なかったため、エネルギー自立化を実現させる可能性の高い処理場として、本機構とともに平成29年度に共同研究を実施しています。同浄化センターにこれまでの取り組みと現状、今後の展望についてお聞きしました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-07-22-quarterly1>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 16 号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter16>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターは こちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体は こちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。 。 。

はしわたし （みなさまの情報交流の場です）

。 。 。

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 。

国からの情報

。 。 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2019. 7. 19 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

今週は各地で局地的豪雨があり、地下街・地下道の浸水の報道もありました
（参考情報）。

各自治体・関係者の皆様におかれては、市民や関係者の安全第一で、
備えができるところはしっかり対策をしていただくようお願いします。

そろそろ 8 月 6～9 日の下水道展@横浜が近づいてきました。

<https://www.gesuidouten.jp/top/index/>

関連イベントの記事も下記にありますので、是非ご参加ください！

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○ 下水道展' 19 横浜 併催企画「B-DASH ガイドライン説明会」を開催します。
～新たな 4 技術の概要と導入検討方法の説明と導入事例の紹介～（国土交通省）

○ 「令和元年度アジア水環境改善モデル事業」に係る実現可能性調査（FS）
実施機関の募集（環境省）

- 令和元年度優良地方公営企業総務大臣表彰の受賞団体決定について
- 地域資源活用の経済効果とビストロ下水道について考える シンポジウム
のご案内（主催・GKP ビストロ下水道チーム 共催・日本下水道協会）
- B I S T R O下水道『じゅんかん育ち』マルシェ
（G K P ・下水道広報プラットホーム、みらいマルシェ）

-
-
- 下水道展'19 横浜 併催企画「B-DASH ガイドライン説明会」を開催します。
～新たな4技術の概要と導入検討方法の説明と導入事例の紹介～（国土交通省）

今年度公表予定の4技術のガイドラインを説明するだけでなく、B-DASH 実証技術を採用した地方公共団体が導入効果等の事例紹介を行います。

大阪府池田市で実施した「焼却排熱発電技術」及び熊本市で建設を進めている

「鋼板製消化槽」について、それぞれの実証効果や導入検討経緯等を紹介します。

また、本省からは財務省による6月の予算執行調査を受けて、技術開発の方向性や新技術の導入促進策などの取組を情報提供いたします。

多数のご参加をお待ちしております。

※参加を希望される方は、下水道展'19 横浜ホームページより事前登録をお願いします。

申し込みページアドレス：<https://www.gesuidouten.jp/Seminar/kikaku/#naiyou5>

ガイドライン説明会の開催概要

開催日時：8月7日（水）13：00～16：00

会 場：会議センター 502 ルーム

募集人数：150名 先着順

申込締切：7月25日（木）

- 令和元年度優良地方公営企業総務大臣表彰の受賞団体決定について

総務省では、経営の健全性が確保されており、かつ、他の地方公営企業の模範となる取組を行っている地方公営企業を対象として、総務大臣表彰を行っています。

第6回目となる今回の被表彰企業（3団体）のうち、下水道事業については、管路包括委託を導入した千葉県柏市が受賞しました。

⇒（総務省報道発表）

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01zaisei06_02000221.html

- 「令和元年度アジア水環境改善モデル事業」に係る実現可能性調査（F S）
実施機関の募集（環境省）

環境省では、政府の成長戦略の一環として、我が国企業が有する技術を活かしたアジア域内の水ビジネス市場への進出を支援することを目的に、平成23年度より「アジア水環境改善モデル事業」を実施し、水質汚濁が深刻化しているアジア諸国等への我が国企業の進出を促進し、水環境の改善を図っています。

昨年度に引き続き、モデル事業の実施主体として、アジア諸国等で水環境改善ビジネスを展開するための実現可能性調査（F S）及び翌年度以降の実証実験を

実施する事業者等を令和元年7月12日(金)から8月23日(金)までの間募集します。

詳細は環境省ホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/106989.html>

○ 地域資源活用の経済効果とビストロ下水道について考える シンポジウム
のご案内(主催・GKP ビストロ下水道チーム 共催・日本下水道協会)

下水道資源の活用のためには技術だけでなく、地域への経済効果の説明が重要ですが、下水道分野では遅れています。そこで、地域未利用資源の経済効果についてのスペシャリストである事業構想大学院大学の重藤さわ子准教授に御講演いただくとともに、ビストロ下水道の推進に科学的アプローチを行う日本下水道協会、GKP ビストロチームからは広報の観点等から全国のベストプラクティスを行脚して見つけたビストロ下水道成功のための究極の広報等を紹介し、地域資源活用について「経済」「科学」「広報」から多面的に考えるシンポジウムを下記の通り開催します。

下水道展最終日にはありますが、地域資源の経済効果の考え方について学ぶ貴重な機会です。

ぜひ、ご参加ください。

- ・日時：平成31年8月9日(金) 13時～15時
- ・場所：パシフィコ横浜会議棟 3F 303
- ・タイトル：地域活性化戦略としてのビストロ下水道プロジェクト
- ・講演者 事業構想大学院大学 重藤さわ子 准教授 ほか
- ・コメンテーター 加藤裕之 氏(GKP アドバイザー)
- ・定員 116名

参加ご希望の方は下水道展 HP よりお申し込みください。

<https://www.gesuidouten.jp/Seminar/kikaku/#naiyou21>

問い合わせ GKP BISTRO チーム team@jyunkansodachi.com

○ B I S T R O下水道『じゅんかん育ち』マルシェ
(GKP・下水道広報プラットホーム、みらいマルシェ)

「下水道展'19 横浜」のPRを兼ねて、下水汚泥由来肥料で育てた野菜や果物を使用した「スイーツ」「パン」「お総菜」などをご提供する『じゅんかん育ち』マルシェを開催します。

マルシェでは、巷で話題のビーガンスイーツの有名店

「UPBEET! TOKYO」がじゅんかん育ちスイーツを提供。

地元・横浜の地ビール「横浜ビール」も出展します。

地ビールと一緒に、おいしく育った野菜や果物の味をお楽しみください。

当日開催される抽選会にご参加いただくと、地元横浜市のマンホールカードやオリジナルグッズをGETできます！

<https://www.facebook.com/events/376144756419383/>

日時：2019年8月3日(土) 10:00～16:00

場所：みなとみらい線 馬車道駅構内

主催：GKP・下水道広報プラットホーム、みらいマルシェ(株)

【参考情報】

- ◆ 下水道の汚水あふれ防げ＝豪雨対策、ガイドライン作成へー国交省

<時事通信 7/17>

<https://www.jiji.com/sp/article?k=2019071700782&g=eco>

◆ 仙台・南蒲生浄化センター 震災復旧工事が完了 <7/18 河北新報>

https://sp.kahoku.co.jp/tohokunews/201907/20190718_13005.html

◆ 局地豪雨で駅浸水 名古屋・栄 <7/17 中日新聞>

<https://www.chunichi.co.jp/article/front/list/CK2019071702000306.html>

◆ ザザシティ地下1階冠水 17日未明の大雨で被害 <7/18 中日新聞>

<https://www.chunichi.co.jp/article/shizuoka/tokai-news/CK2019071802000112.html?ref=lcrk>

◆ AIで水位予測、コスト7割安く 新日本コンサル <7/18 日本経済新聞>

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZ047497820Y9A710C1LB0000?s=1>

◆ アクアインテック、下水消毒 コスト・労力軽減 <7/18 日本経済新聞>

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZ047500860Y9A710C1L61000?unlock=1&s=1>

◆ お台場海浜公園 今年も海水浴場に 来月10日から9日間 <7/19 東京新聞>

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201907/CK2019071902000144.html>

◆ 地方のインフラ 進む老朽化への対策急ぎたい 社説 <7/18 読売新聞>

<https://www.yomiuri.co.jp/editorial/20190718-0YT1T50341/>

◆ 【気象コラム】雨雲の動きをつかもうとしている話 気象レーダーを賢く使おう<7/16 47NEWS>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190716-00000003-yonnana-soci>

◆ 雨水管理で生活の質向上を 武蔵野 水の循環など考える講座 <7/14 東京新聞>

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201907/CK2019071402000105.html>

◆ 非農家の利用「禁止できず」=農業用水路、改良区が逆転敗訴-最高裁 <7/18 時事通信>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190718-00000117-jij-soci>

◆ アルビ愛足元から発信 新潟市、デザインマンホール設置 <7/18 北陸・信越観光ナビ>

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190718-00000001-hokuriku-115>

◆ 公募の下水道マンホールのふた表彰式 諏訪市 <7/18 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/50524>

◆ 下を向いて歩こう!? 奥深い「マンホール蓋」の世界 鉄蓋愛好家と下北沢を実際に歩いた <7/17 乗り物ニュース>

<https://trafficnews.jp/post/87902>

◆ マンホールのふた売ります 福井市、下水道PRに <7/17 日本経済新聞>

<https://r.nikkei.com/article/DGXMZ047442230X10C19A7LB0000?s=1>

◆ 水インフラの持続と企業力(1) 新規開拓したいのに人材が足りない! <Web ジャーナル Mizu Design>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1776.html>

◆ 持続可能な水インフラと官民連携 (13) 浜松ウォーターシンフォニー
最高執行責任者 佐藤丈弘氏に聞く (上)
コスト管理に早くも民活の成果 <Web ジャーナル Mizu Design>
<https://mizudesignjournal.com/finance/1769.html>

◆ 17人の京都大学の教員らの叡智が一堂に集結する、前代未聞の
SDGs シンポジウムを大阪で開催！<7/12 時事ドットコム>
<https://www.jiji.com/sp/article?k=000000014.000036466&g=prt>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511 (代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>